

## 令和元年度 第1回一宮市特別職報酬等審議会

### 1 日 時

令和元年 12 月 17 日（火） 午前 9 時 30 分～午前 10 時 45 分

### 2 会 場

一宮市役所本庁舎 6 階 特別会議室

### 3 出席委員（9名）

河村正夫 稲垣敏志 豊島半七 五藤政尋 森 重幸  
牛田幸夫 土川ますみ 岡西美子 伊藤雅淑

### 4 欠席委員（1名）

太田一弘

### 5 事務局

中野市長（諮問後退席） 長谷川総務部長 岩田議会事務局長  
善治総務部次長 山内人事課長 古田人事課専任課長  
伊藤同課長補佐 鈴木同課長補佐 長尾同課長補佐

### 6 審議内容（概要）

- ・ 人事課長により審議会の成立について確認
- ・ 市長あいさつ
- ・ 委員の互選により、豊島委員を会長とすることに決定
- ・ 豊島会長があいさつの後、会長職務代理者に牛田委員を指名
- ・ 市長が豊島会長へ諮問
- ・ 人事課長による配布資料の概要説明
- ・ 審議に入る

質疑応答の概要は、以下のとおり。

#### 豊島会長

事務局から説明を受けましたが、どのように審議をすすめましょうか。  
ご意見等はありませんか。

#### 河村委員

全国同規模市との報酬金額比較で、議員については下位、市長・副市長は中位となっており、状況が違うように思います。別々に検討してはどうでしょうか。

#### 豊島会長

みなさんいかがでしょうか。

委員一同

(異議なし)

豊島会長

みなさんご異議ないようですので、議員と市長・副市長は別々に検討したいと思います。

それでは、まず議員について、ご意見をお願いします。

伊藤委員

同規模市と比較すると県内・全国ともに低いですし、昨年も据え置きましたので見直してはどうでしょうか。大きな変更は難しいですが、人事院勧告相当分の範囲であればどうかと思います。

五藤委員

伊藤さんと同意見です。ただ増税がされている中で、引き上げるとしてもどれぐらいの上げ幅を適当とするかの判断が難しいと思います。

森委員

例えば、一宮市と春日井市では議員の人数が違いますよね。議員報酬総額でも考えてみたいと思います。

岡西委員

景気のことや増税のことなど、今の社会状況を考えると抵抗がありますが、中核市移行に向けて引き上げても良いのではないかともあります。

稲垣委員

全国同規模市比較で低いので上げてはどうかという気持ちもありますが、景気の状態が悪いので難しいですね。

河村委員

一宮市は手数料の見直しを行うと聞いていますが、市民の自己負担の増を行いながらの引き上げはどうかと思います。人事院勧告分を引き上げるという方法もありますが、今回は見送って中核市移行後にあらためて検討するという考え方もあると思います。

土川委員

非常に迷うところではありますが、全国同規模市の比較で低い位置にありますので、引き上げを検討してはどうかと思います。

牛田委員

経済状況が良くないことはありますが、5年間据え置きであった経緯を考えると、引き上げも検討してはどうかと思います。

豊島会長

本日欠席の太田委員の意見を事務局から報告をお願いします。

人事課長

引き上げには反対である、というご意見でした。中核市移行をひかえているといった状況は理解するが、景気のことなどを考えると市民感覚的に引き上げに賛成はできない、とのことでした。

豊島会長

太田さんは据え置きというご意見ですね。

みなさんのご意見は、太田さんと河村さんが据え置き、他の方は少し上げること検討してはどうかということかと思えます。

中核市移行の影響をどう考えるかは、今は判断が難しいということになるのでしょうか。

報酬額の推移について再度確認したいのですが、どうなってますか。

人事課長

平成27年に4%アップしています。それ以前は平成16年までさかのぼりますが減額をしております。

豊島会長

平成27年以降ですから5年据え置きになっているということですね。その5年間の人事院勧告の動きは合計すると0.51%のアップになるとの事務局説明でしたが、それを参考にすることについてはどうでしょうか。

総務部長

人事院勧告は、公務員の給与を社会経済情勢に適応させるために、毎年官民の給与差を埋めるべく出されているもので、当市の職員給与もそれに準じて改定しています。そういった意味では、ひとつの目安にするという考え方もあると思えます。

河村委員

みなさんが引き上げというお考えであれば、据え置き案を固持するつもりはありません。

森委員

議員報酬総額で検討しては、と先程申し上げたのですが議員定数のことはこの場で話すことではないですね。

私ども町内会や連区のことに関わっている者からすると、補助金が過去に減額されていることを考えてしまいます。報酬額とは直接は関連の無いことかもしれませんが、みなさんにも知っておいていただきたいと思えます。

豊島会長

町内会、連区等への補助金が減額されているというご事情があるということですね。そういったお立場では引き上げに積極的に賛同されるのは難しいこともあるかと思えます。

みなさんのご意見をまとめますと、同規模市比較の結果で低いこと、また5年据え置きが続いていることはあるものの大きな変更は難しい、人事院勧告相当分が上限、というところでしょうか。

0.51%だと具体的にいくら引き上げになりますか。

総務部次長

千円単位四捨五入すると、議長、副議長、議員全て 3,000 円の引き上げになります。

豊島会長

それでは、議員報酬については以上といたしまして、続いて市長・副市長の審議に移りたいと思います。

河村委員

審議対象ではありませんが、教育長と水道事業等管理者が変更されています。経緯をお伺いしたいと思います。

人事課長

基本的には市長・副市長が変更になった場合に見直しの検討を行いますが、今回の変更につきましては、県内同規模市との比較を行い調整したものです。

稲垣委員

確認ですが、先ほどの資料説明で市長・副市長の退職手当の算定が低いとの話でしたよね。

人事課長

退職手当を算定する際の係数が、県内同規模市との比較でかなり開きがあります。審議会の審議対象ではない範囲のことになりますが、4年任期満了時に市長ですと 1,000 万円程の差になります。

稲垣委員

さきほど議員については 0.51%アップで話がまとまりましたが、同率の変更を行うと議員より引き上げ額が大きくなりますよね。全国同規模市比較で、議員は下位、市長・副市長は中位とのことでしたので相対的な位置関係がそのままになりませんか。

伊藤委員

提案ですが、市長・副市長については、議員の引き上げ額である 3,000 円をそのまま当てはめてはどうでしょうか。引き上げ率としては議員より低い形になると思います。

五藤委員

伊藤委員の案に賛成します。全国同規模市比較で議員ほど低くはないが、退職手当では県内同規模市と比べ少ないということですので、見直し案としていいのではないかと思います。

豊島会長

みなさんのご意見もお伺いしたいと思います。

森委員

議員とは別の考え方をするといいと思います。

土川委員

賛成です。

岡西委員

賛成です。

豊島会長

みなさん賛同いただけるということでよろしいでしょうか。

3,000円という金額を当てはめると引き上げ率はどうなりますか。

人事課長

市長は0.28%、副市長は0.34%のアップになります。

豊島会長

それでは全体の確認ですが、今回から2年間隔の開催になりますので、次回は令和3年度、中核市移行後になります。中核市移行の影響についてはまたそのときにあらためて検討し見直すということになります。

議員については、全国同規模市比較で明らかに低いものの社会状況を鑑み、前回平成27年引き上げ以後の人事院勧告相当分の0.51%アップとします。

市長・副市長については、全国同規模市比較では、議員のように低いということはないものの、退職手当が原因で総支給額が低いというようなこともありますので、引き上げ額を議員と同額とする、ということになりました。

今回の議論をもとに答申案を作成し、次回ご検討いただきたいと思います。その他、事務局から何かありますか。

人事課長

第2回審議会は1月15日を予定しております。よろしく願いいたします。

豊島会長

以上をもちまして、第1回の報酬審議会を終了いたします。ありがとうございました。

(午前10時45分終了)